

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	ふるさと水と土保全事業				開始年度		
基本目標	活力ある農業の振興				終了年度		
担当課(局)	産業振興課	担当係	農村整備係	記入者	長友和也	評価者	長町信幸
21年度決算	918	千円	22年度予算	1,223	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	1,437 千円		22年度人件費	1,457 千円		事業従事者数	0.20 人 0.20 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	ふるさと水と土保全基金利子を運用して農地及び農業施設の適切な維持管理を行う。
事業の内容	農業用施設(用排水・農道等)の維持管理作業及び原材料の支給

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 農業用施設の維持管理	小丸川土地改良区等と連携し農業用施設の維持管理に努める。
	2 原材料の支給	小丸川土地改良区等と連携し農業用施設の原材料を地元水利組合等に支給する。
活動指標	活動指標名	
	# 原材料支給	1水利組合以上に原材料を支給する。
	2 点検	農業用施設(土地改良施設)の点検について年1回点検を行う。
	3	

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度	
成果指標	農業用施設の維持管理	目標値	1	1	1	
		実績値	1	1		
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	原材料の支給	目標値	回	1	1	1
		実績値		1	1	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	0		#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標	原材料支給	目標値	1	1	2	
		実績値	1	1		
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	点検	目標値	回	1	1	1
		実績値		1	1	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	0		#DIV/0!	#DIV/0!		

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	町が直接関与するよう法律で定められており(補助要綱による)、事業廃止については影響がある。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	適切な維持管理を行うことにより、農業用施設の長寿命化を計ることができる。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	農業用施設の維持管理に貢献できている、時間の削減については農地・水・環境保全向上対策に取り組むことにより軽減されている。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	農地・水・ろ環境保全向上対策により対象住民が対応できる。

事務事業名	ふるさと水と土保全事業	担当課(局)	産業振興課
-------	-------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	現状でも地域住民と共同で実施しており、農業用施設等維持管理のために必要不可欠と考える。	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充				
			現状維持			○		
			縮小					
			廃止					
			廃止	縮小	現状維持	拡充		
			コスト					

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎事業の目的からして、成果は余り望めない。施設の管理は、土地改良区を活用し、自主運営の方向に考えるべきではないか。 ◎本来の趣旨は、基金の果実運用で実施すべきであるが、低金利のため一般財源で対応している現状にある。事業自体は必要と判断するので、しっかりした計画のもと、農地・水・環境保全向上対策事業と併せて有効活用を図ってほしい。 ◎農地・水保全事業の活用など、別の補助事業の活用はできないか。基金の取り崩しなど単費削減を検討調査すべきである。
	コスト	現状維持	